vinetur

Underberg、2028年満期債務の借り換えへ4,500万ユーロの社債発行を計画

ドイツの酒類グループUnderbergが、2032年満期債の利率を6.00～6.75％とし、最大4,500万ユーロの社債発行を計画

2026年11月16日（月）



Semper idem Underberg AGは11月16日（月）、2032年満期の新社債を通じて最大4,500万ユーロを調達する計画を明らかにした。ドイツの酒類グループは、2028年に満期を迎える債務の借り換えを早期に進めるとともに、国内市場の低迷を補うため、海外での成長に力を入れる。

同社によると、取締役会は監査役会の承認を得て、新社債を発行することを決定した。年利の仮条件は6.00～6.75％で、最終利率はブックビルディング後に決定する。Underbergは、発行の主な目的は、既発の2022/2028年満期社債を満期前に借り換えることだとしている。

既発債の保有者は、保有する社債を新たな2026/2032年満期社債に1対1で交換できる。Underbergに

よると、交換した社債1口につき5ユーロの現金に加え、経過利息も受け取る。交換期間は11月17日（火）から12月1日午後6時（中央欧州時間）までの予定。

グループは新社債を公募でも投資家に販売する。同社によると、ウェブサイト経由の申し込みは11月17日（火）から12月3日午後6時まで受け付ける。フランクフルト証券取引所のDirectPlaceシステムを通じた申し込みは、11月18日（水）から12月4日正午までを予定している。最低申し込み額は1,000ユーロで、同社は募集を予定より早く終了する場合があるとしている。社債はフランクフルト証券取引所のオープンマーケット区分への上場を予定している。

Underbergによると、公募は目論見書に基づいて実施する。同社は、ルクセンブルクの金融規制当局であるCommission de Surveillance du Secteur Financierが11月16日（月）に目論見書を承認すると見込んでいた。また、欧州の一部の国で機関投資家向けの私募も計画しており、B. Metzler seel. Sohn & Co.が単独主幹事を務める。

借り換え計画の発表にあたり、同社は2026/27年度上半期の売上高が小幅に増加したと報告した。4月から9月までの売上高は、前年同期の6,770万ユーロから1.2%増え、6,840万ユーロとなった。

この増収は、ドイツの酒類市場が引き続き低迷するなかで達成された。Underbergが引用したNielsenIQのデータによると、年初から最初の9カ月間に、ドイツの酒類業界全体の売上高は3%減少した。こうした環境下で同社は市場シェアを伸ばし、通期売上高は前年並みとなる見通しを維持した。調整後EBITDAは、目標レンジである1,100万～1,200万ユーロの上限に達する見込みだという。

同グループは2025/26年度に、売上高1億3,690万ユーロ、調整後EBITDA1,230万ユーロを計上した。

ドイツ国外では、上半期の販売数量が前年同期を約16%上回ったとUnderbergは発表した。増加をけん引したのは主力ブランドのUnderbergとAsbachで、いずれも海外での販売数量が約20%伸びた。同社は特に好調な市場として、ブラジル、米国、北欧諸国を挙げた。

ドイツでは、St. Hubertusブランドが際立ち、上半期の販売数量は前年同期比で約17%増加した。同社はこの実績について、近年投入した一連の派生商品が寄与したとしている。

借り換え計画と輸出の伸びが組み合わさった今回の動きは、ドイツの飲料業界、特に酒類メーカーが直面する圧力を浮き彫りにしている。国内需要が依然として弱いなか、利益率を守り、ブランドへの投資を続けようとする企業にとって、資金調達の機会と海外展開の能力がますます重要になっている。

Underbergは品ぞろえの拡充に向け、販売事業も拡大している。同社によると、ドイツの販売子会社Diversa Spezialitäten GmbHが、Loch Lomondウイスキーのドイツ国内販売を引き継ぐ。Underbergは、同蒸留所について、伝統的なウイスキー製造と、さまざまな販売チャネルに適した多様なスタイルを組み合わせていると説明した。

Loch Lomondとの契約に先立ち、Underbergは販売ブランドの拡充を進めてきた。同社によると、2024年にはANORA Groupとの提携を拡大し、Linie Aquavit、Malteserkreuz、Aalborgの販売を開始した。2025年にはオーストリアのブランドSTROHと、イタリアのGanciaの商品を加え、ウォッカブランドThe Standard 1894も取り扱いに加わった。

ラインベルクに本社を置くUnderbergは、家族が経営権を持つプレミアムスピリッツの製造・販売会社だ。主力ブランドにはUnderberg、Asbach、PITÚがある。また、幅広いポートフォリオにはSt. Hubertus-Tropfen、XUXU、Zwack Unicum、Grasovkaのほか、複数の外部ブランドも含まれる。

最高経営責任者（CEO）のMichael Söhlkeは、早期の借り換えは今後数年間の計画に確実性をもたらすことを目的としており、上半期の事業では戦略面、運営面の双方で進展が見られたと述べた。最高商務責任者（CCO）のThomas Mempelは、海外売上高の継続的な拡大が、ブランドの国際化をさらに進めるグループの取り組みを後押ししていると語った。